

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 752 号	氏名	渕上 由貴
学位審査委員	主査	黒田 直敬	
	副査	西田 孝洋	
	副査	川上 茂	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、深刻な社会問題である乱用薬物の防止活動に貢献するため、乱用薬物の中枢への影響に関する科学的エビデンスの構築をおこなったものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>この種の研究成果を左右すると考えられる種々のバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、また得られた結果は統計学的解析法で解析したもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、合成麻薬 3,4-methylenedioxymethamphetamine (MDMA) の MDMA 含有量や methamphetamine の併用が中枢へ及ぼす影響を明らかにした。また、新規乱用薬物 methoxetamine に対し、脳マイクロダイアリシス法を用いた評価系の構築をおこない、対照の麻薬 ketamine と比較してより強力な中枢作用を引き起こす可能性が示された。本研究で得られた成果は、乱用薬物の規制に向けて有用な基礎的知見となることが大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は乱用薬物に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			